



マシン ケアテック株式会社

舗装マシンの整備から「未来づくり」へ



会社プロフィール

代表取締役 **吉田 勝美**

【事業内容】 舗装マシンの輸入販売・整備、後付け衝突防止補助装置の製作・取付

【所在地】 持田 1-6-23

今月は、道路や大規模施設のコンクリート舗装を行う重機の輸入販売や整備など道路建設を陰から支えているマシンケアテック株式会社を紹介いたします。

同社は、昭和56年に設立した有限会社荒山重機工業を前身とし、株式会社へ移行後、平成21年から現在のマシンケアテック株式会社となりました。従業員数20人弱と小さな会社ではありませんが、高速道路や空港、港湾施設などの大規模施設の建設やその維持管理に使用される重機を通じて、私たちの日々の円滑な移動に大きく貢献しています。

外国製の大型重機を取り扱う同社ですが、整備スタッフの大半は自動車整備士の資格を有しているものの、特殊技術などは持っておらず、大型重機に触れる中で知識の習得や技術力の向上を図っているそうです。また、近年では建設現場での事故を防止するため、重機が自動的に停止する安全装置の製作や取り付けにも力を入れています。日頃私たちが利用する自動車などと異なり、多くの重機には安全装置が取り付けられていません。そうした中で顧客からの「重機の故障や現

場でのアクシデントに対応できるように安全装置を取り付けてもらいたい」という声を受け、プログラミングのできる社員が安全装置を開発。現在は顧客の要望に合わせたカスタマイズをしたり、製品のさらなる改良をしたりして道路建設における安全対策にも取り組んでいます。

同社の強みは、「こまやかな顧客に寄り添った柔軟な対応ができること。これまで積み重ねてきた顧客との関係が同社を信頼される会社へと成長させ、その対応力や技術力の高さが口コミでも広がっています。

今後について「お客様の要望に応える技術を提供するだけでなく、自社開発する安全装置をより良いものに改良しながら、将来的にはICTなども活用する中で道路建設における重機の自動化も目指していきたい」と語る経理総務部長の東海林さん。そして未来づくりをサポートする同社の理念の下、「人やモノを運ぶだけでなく、人の想いも運ぶ」ことができる道路の建設に携わる人たちの安全を守りながら、これからもその手助けを続けていきます。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課(内線318)までお寄せください。

来て! 見て!

図書館

と しょ かん

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

10月1日(火)～4日(金)・7日(月)・
15日(火)・21日(月)・28日(月)・
31日(木)

11月5日(火)・11日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



市制施行75周年記念 第9回 図書館まつりを開催します

- ▶日時 10月26日(土)午前10時～午後4時
- ▶場所 図書館(「みらい」内と屋外でも一部実施)
- ▶内容 ①雑誌リサイクル市 午前10時～午後4時
不要になった雑誌を1冊50円で販売します。
②移動図書館車の展示 午前10時～午後4時(雨天中止)
③おりがみのへや 午後2時～4時(受け付けは午後3時30分まで)
折り紙でいろいろな作品を作りましょう。
④図書館ぐるっと探検 午前10時30分～・午後2時30分～
普段入ることのできない秘密の本棚に案内します。

市制施行75周年記念 秋の読書週間特別映画会

- ▶日時 11月3日(日)午後1時30分(午後1時10分開場)
- ▶場所 「みらい」映像ホール
- ▶作品名 「かがみの孤城」(上映時間116分)
- ▶定員 70人(先着順)

市民リサイクル文庫

不要になった本を、読みたい方に提供する「市民リサイクル文庫」を開設します。不要な本(雑誌を除く)がありましたら、次の期間内に図書館にお持ちください。

- ▶期間 11月1日(金)～8日(金)
- ▶場所 図書館入口

ぎょうだ電子図書館読み放題コンテンツについて

今までの読み放題コンテンツ(92点)が9月末日で終了し、10月1日から新たな読み放題コンテンツ(40点)が始まります。

読み放題コンテンツは借りなくても読むことができる電子書籍です(要ログイン)。ぜひご利用ください。



行田歴史系 367

資料がかる行田の歴史

67

小栗正勝と正覚寺 ～想いの込められた梵鐘～

戦国から江戸時代に移り変わるころ、忍城番と代官を務めた小栗正勝の墓所は市内城西の正覚寺にあります。

小栗正勝は、慶長年間より鉄炮同心20人を預けられ、徳川氏直轄の城となった忍城の城番と力を命じられた人物です。その後、代官頭の伊奈忠次配下の忍領代官として城郭周辺地域の民政に携わり、特に徳川將軍家の御鷹場の管理を天野忠重とともに担いました。

彼の知行地は幡羅郡三ヶ尻村・折之口村など行田市外に計550石ありましたが、菩提寺は正覚寺としました。これは日常的に忍城内で生活・勤務していたことが影響しており、城郭に近接する寺院を菩提寺として選択したものです。

正覚寺は戦国期の忍城主成田氏長が開基した浄土宗寺院であり、境内には小栗



小栗正勝寄進の正覚寺梵鐘

(郷土博物館 澤村恰薫)

家の初代正勝、三代正久、四代正豊と一族のもののみられる墓石が伝わります。中でも、方形の塔身・笠・屋頂に相輪を載せた宝篋印塔と呼ばれる墓石は初代正勝のものと考えられます。

正覚寺の梵鐘もまた小栗家と関わりが深いものです。梵鐘の表面には小栗一族17名の法名に加え「鑄造大檀那 小栗孫助正豊 武州埼玉郡忍持田村 大雄山正覚寺住持 当寺九世然蓮社郎嘗上人 大和尚 元禄二己巳年三月八日」と銘文が刻まれており、元禄2(1689)年3月に小栗正豊が大檀那として寄進した梵鐘であることが分かります。

小栗家は、忍・鴻巣の御鷹場を長年管理してきましたが、天和3(1683)年に五代將軍徳川綱吉の意向で鷹場制度が縮小されると、彼の役割も免じられ、江戸に移り住むこととなります。梵鐘は、四代にわたり慣れ親しんだ地域を離れなければならない状況の中で、祖先の菩提供養を祈念して小栗家から正覚寺へ寄進されたものでした。

私の作品

- 俳句**
- 藤原町 斎藤雄次郎
マドンナも等しく老いて鳳仙花
持田 小倉 繁三
煮えきらぬ為政者つづく原爆忌
南河原 今村 文女
気怠さは老いか猛暑か無為の日々
門井町 宮田 淑尚
朝涼や妻と分け合ふ焼魚
棚田町 川鍋 幽覚
軽井沢人波絶えて八月尽
長野 牧 努
炎天下ひとりぼっちのカンナかな
谷郷 森 洋子
川沿いの草より生るる秋の風
忍 大澤 由子
なつかしき顔揃えたる盆帰省
荒木 高澤よね子
猛暑にも記念の時計よく動く
(三沢 一水 選)
- 埼玉 荻原 増夫
戯言を消し去るほどの大夕焼
緑町 松林 真弓
赤とんぼ赤き欄干好むらし
小見 三宅 典之
豚草や媪操つる草刈機
忍 伊藤 誠一
トンネルを抜ければ展く星月夜
若小玉 吉住 司
大稲田海のごとくに波を打つ
長野 鎌田 昇
満月を両手で掬ふ露天風呂
南河原 和泉 貫一
炎天の道に影なし寄辺なし
城南 大藤 一郎
利根の夏一人で祀る六峯忌
門井町 井上タカ子
爽やかや郷土の偉人新札に

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日(必着までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。